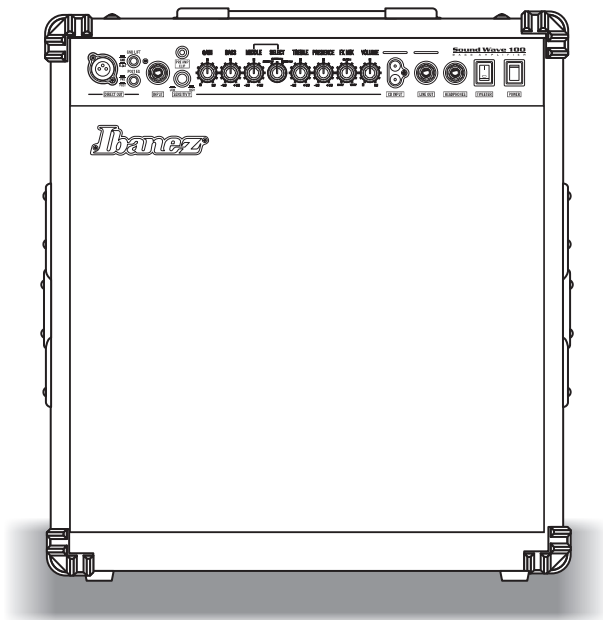


---

# Sound Wave 100

---

取扱説明書/OWNER'S MANUAL/BEDIENUNGSANLEITUNG  
MODE D'EMPLOI/MANUALE DI ISTRUZIONI/MANUAL DEL USUARIO/用户手册



***Ibanez***

## はじめに

この度は IBANEZ ベース・アンプ SW100 をご購入頂きまして、誠にありがとうございます。  
本製品の機能を十分に活用して頂くために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。また、本書は大切に保管してください。

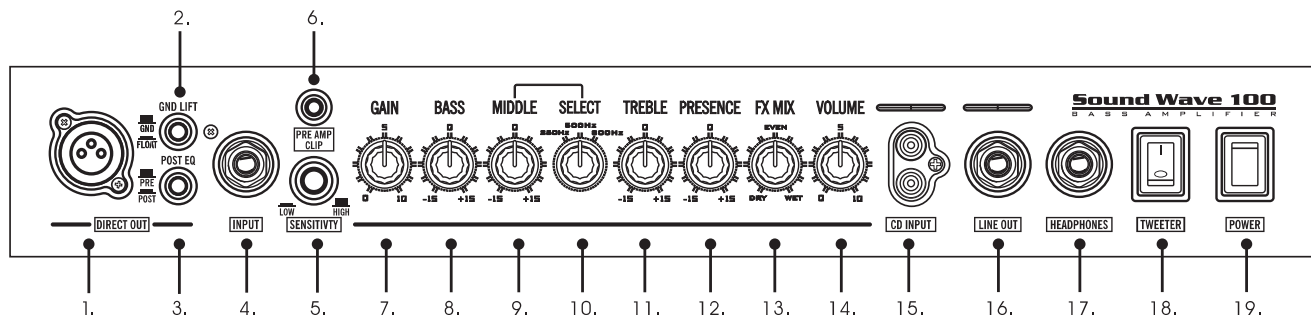
## 特徴

SW100 のアンプ・ヘッド部は 100W の出力、スピーカー部には 15 インチ・サイズの強力な IBANEZ オリジナル・スピーカー POWER JAM 1508B 及びビエゾ・ホーン・ツイーター PJPT85-2 を搭載し、最高の音質と使いやすさをお届けします。プリアンプの EQ には新設計の± 15dB の可変幅を持つ 4 バンド・アクティブ EQ を採用し、多彩な音色の演出から、繊細な調節まで幅広く対応できます。また、SW100 は内部にリミッターを採用し、歪みを抑えかつパンチのあるローエンドを実現しています。

## 使用上のご注意

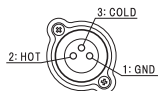
- ・落下等の衝撃を与えたり、乱暴な取り扱いには避けて下さい。
- ・しっかり安定した場所に設置してください。設置の仕方、場所、会場等によって音色が異なって聞こえる場合があります。
- ・直射日光の当たる場所、極端な温度や湿度環境でのご使用、保管は避けてください。
- ・ギター・シールド・ケーブル、外部に接続されたエフェクター等のケーブルの接続、取り外しはボリュームを 0 にするか、電源スイッチを切ってから行ってください。プラグの抜き差しをする際のノイズは本製品に深刻なダメージを与える場合がありますので、ご注意ください。
- ・火災の危険を避けるため、花瓶など液体の入ったものをアンプの上に置かないでください。
- ・本製品は電源コンセントが接続されている場合に、電源スイッチがオフになっていても、電源から完全に絶縁されてはいません。ご使用にならない時は、電源をオフにして保管してください。また、長期間ご使用にならない場合は、電源コンセントを抜いて保管してください。

## 各部の名称と機能



## 1. DIRECT OUT コネクタ

レコーダーやPA等に直接送るダイレクト・アウト用コネクタです。極性は図のようになっています。



## 2. POST EQ スイッチ

ダイレクト・アウト信号をプリアンプ回路のどの位置から出力するかを切り替えます。“PRE”ではインプットから直接信号を送るので、アンプのコントロールは一切信号に関与しません。“POST”ではエフェクトリターンのあとから信号を送るため、「VOLUME」以外のコントロールが全て信号に影響します。また、いずれの場合も、CDインプットの信号はDIRECT OUTから出力されません。

## 3. GND LIFT スイッチ

ダイレクト・アウト・コネクタの1番ピンを本体のグラウンドと接続するか切り離すかを切り替えます。複雑に機器を配線し、グラウンド・ループでハム・ノイズが増加した場合に、グラウンドを切り離すとハム・ノイズを減少させることができます。

## 4. INPUT ジャック

標準1/4”ジャックの入力端子です。エレクトリック・ベース・ギターからギター・シールド・ケーブルを用いて接続してください。

## 5. SENSITIVITY スイッチ

入力感度を5dB切り替えます。“HIGH”の状態はパッシブのベースに、“LOW”の状態はアクティブのベースに対応しています。

## 6. PRE AMP CLIP インジケータ

プリアンプ、GAINやイコライザーの設定により、「VOLUME」コントロールの手前でリミッター回路が働きますと、青に点灯します。

## 7. GAIN コントロール

プリアンプのゲインをコントロールします。レベルを上げていくと、音量は大きくなりますが、ある程度を超えると、歪みを抑えるためにリミッターが働き、レベルはあまり上がりません。さらに上げていくとリミットが強くかかる働きになり、スレッシュホールドが下がるような効果が出ます。EQとの兼ね合いをみながら、VOLUMEコントロールを併用して好みのセッティングにしてください。

## 8. BASS コントロール

低音域のイコライザーで、シェリングタイプです。100Hzの帯域を±15dBのレベルまでブーストまたはカットができます。

## 9. MIDDLE コントロール

中音域のイコライザーです。SELECTスイッチで選択した周波数を±15dBのレベルまでブーストまたはカットができます。

## 10. SELECT スイッチ

MIDDLEコントロールでブーストまたはカットする周波数を切り替えます。周波数は250Hz、500Hz、800Hzから選ぶことができます。

## 11. TREBLE コントロール

高音域のイコライザーで、シェリング・タイプです。4kHz以上の帯域を±15dBのレベルまでブーストまたはカットできます。

## 12. PRESENCE コントロール

超高音のイコライザーです。7.4kHzの周波数帯を±15dBのブーストまたはカットができます。

## 13. FX MIX コントロール

外部エフェクターと原音をミックスする割合をコントロールします。EVENで同レベル、DRYいっぱいでは原音のみに、WETいっぱいではEFFECT音のみになります。このコントロールはリアパネルのEFFECTS RETURNジャックに外部機器を接続すると有効になります。

## 14. VOLUME コントロール

アンプの出力レベルを調整します。CD INPUTの出力レベルも同時にコントロールできます。

## 15. CD INPUT ジャック

ステレオ・ピン・ジャックの入力端子です。ポータブルCD/MD/カセット・プレーヤーや、家庭用ステレオのヘッドフォン出力と接続してご使用いただけます。音量はVOLUMEコントロールで調節できます。

## 16. LINE OUT ジャック

約0dBmのレベルの出力端子です。外部のミキシングコンソール等に接続してご使用ください。

## 17. HEADPHONES ジャック

1/4”ジャックのステレオ・ヘッドフォン出力ジャックです。ヘッドフォン使用時は内蔵スピーカーから音は出ません。

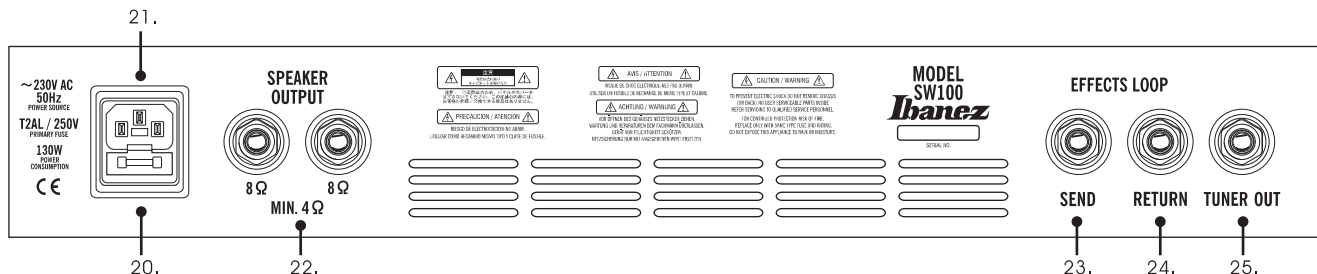
**警告** ヘッドフォン出力は大きな音量を出力できます。ヘッドフォンを使用して演奏を始める際はまず、VOLUMEを絞りと、ゆっくりとVOLUMEを上げて、音量を調節してください。大きな音量時のプラグを抜き差しする時のノイズや歪んだ音声信号は、ヘッドフォンの故障の原因になるばかりでなく、使用者の聴覚を害する可能性がありますので十分にご注意の上、ご使用ください。

## 18. TWEETER スイッチ

内部のツイーターをON/OFFします。

## 19. POWER スイッチ

電源のオン・オフを行うスイッチです。アンプをご使用にならない時にはオフにしておきましょう。



## 20. FUSE ホルダー

ヒューズが切れた場合、内部に重大な故障が発生している可能性がありますのでヒューズを交換する前に販売店に御相談下さい。

## 21. AC インレット

付属のAC ケーブルを接続する端子です。パネルに表示してある入力電圧以外の電圧では絶対使用しないで下さい。

## 22. SPEAKER OUTPUT ジャック

スピーカーへの出力端子で、内蔵のスピーカーシステムに接続されています。本体の内蔵スピーカーのほかに インピーダンスが8Ωで許容入力100W以上のスピーカーを拡張スピーカーとして接続することができます。

## 23. EFFECTS LOOP SEND ジャック

エフェクター用の出力端子です。エフェクターの入力へ接続してください。このエフェクト・ループはコンパクト・エフェクタに適した入出力になっていますが、ラックマウント・タイプのエフェクターでもご使用になれます。

## 24. EFFECTS LOOP RETURN ジャック

エフェクター用の入力端子です。エフェクターの出力から接続してください。

## 25. TUNER OUT ジャック

チューナー用のアウトプットです。コンパクト及びラック・チューナーを接続できます。

# 故障かな？と思ったら

## 1. 電源が入らない。

- ・電源ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・他のコンセントに接続しても電源が入りませんか？

## 2. 電源は入るが、音が出ない。

- ・ベースは正しく接続されていますか？
- ・ベースとアンプ間のエフェクター、エフェクト・ループに接続した外部機器を外しても音が出ませんか？
- ・シールド・ケーブルを変えても音が出ませんか？
- ・ベースのボリュームが0になっていませんか？
- ・アクティブ・ベースの電池が消耗していませんか？
- ・他のベースを使っても音が出ませんか？
- ・アンプのボリュームが0になっていませんか？
- ・ヘッドフォンが接続されていませんか？

## 3. ノイズが出る。

- ・周辺のもの共共振して震えたり、ぶつかったりして音を出していませんか？
- ・シールド・ケーブルのプラグカバーがゆるんでいませんか？
- ・他のベース、エフェクター等の外部機器、ケーブルを使用してもノイズがでますか？
- ・アクティブ・ベースの電池が消耗していませんか？

## 4. ヘッドフォンから音が出ない。

- ・ヘッドフォンは正しく接続されていますか？
- ・他のヘッドフォンを使用しても、音が出ませんか？

## 故障等の場合

この製品は、厳重に検査を終えた上で出荷されております。故障かな？と思ったら、お手数ですが上記の項目をぜひご確認ください。万一使用中に異常が発生した場合は、お買い上げになった販売店にお尋ねください。また、修理をご依頼の際は、すみやかに修理を行なえるよう、症状を詳しくお伝えくださいますようお願い申し上げます。

製品の仕様は品質向上のため予告なく変更する場合があります。

## IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

- 1) Read these instructions.
- 2) Keep these instructions.
- 3) Heed all warnings.
- 4) Follow all instructions.
- 5) Do not use this apparatus near water.
- 6) Clean only with a dry cloth.
- 7) Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
- 8) Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- 9) Do not defeat the safety purpose of the polarized or grounding-type plug. A polarized plug has two blades with one wider than the other. A grounding type plug has two blades and a third grounding prong. The wide blade or the third prong are provided for your safety. If the provided plug does not fit into your outlet, consult an electrician for replacement of the obsolete outlet.
- 10) Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- 11) Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- 12) Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- 13) Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.

**WARNING - To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.**



- “The Lightning Flash with arrowhead symbol within an equilateral triangle, is intended to alert the user to the presence of uninsulated “dangerous voltage” within the product enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of shock to persons”.



- “The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the product”.

## Foreword

Thank you for purchasing the IBANEZ SW100 bass amp.

Read this manual thoroughly prior to using your amplifier in order to get the most out of the functions available. Then keep the manual in a safe place.

## Features

The amp head of the SW100 features a 100W output, and the speaker section uses a powerful IBANEZ original 15-inch POWER JAM 1508B speaker together with a PJPT85-2 piezo horn tweeter, giving you the ultimate in sound quality and convenience.

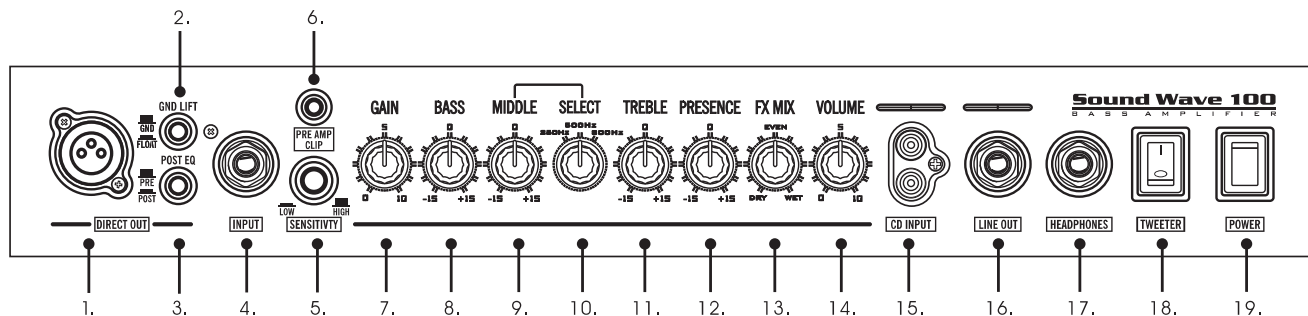
The pre-amp EQ is a newly designed 4-band active EQ with  $\pm 15$  dB of range, covering a versatile range of performance needs and allowing wide yet detailed adjustments.

The SW100 also features an internal limiter, creating punchy low-end.

## Precautions during use

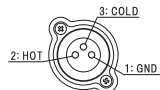
- Do not subject the amplifier to shocks by dropping, etc., or treat it roughly in any way.
- Place the amplifier carefully in a stable position. The sound from the amplifier will vary depending on how and where it is set up.
- Do not use or store the amplifier in locations where it is subject to direct sunlight or in environments that experience extreme temperatures and humidity levels.
- Reduce the volume to "0" or switch off the power supply when connecting the guitar shielded cable and the effects or other cables required for external connection. Note that the noise generated when plugs are inserted and removed may cause severe damage to the equipment.
- To avoid the danger of fire, do not place containers of liquid on the amp.
- As long as the SW100 is connected to an electrical outlet, it is not completely insulated from the power supply even if the power switch is turned off. When you are not using it, leave the power turned off. If you will not be using the SW100 for an extended period, leave the power cable disconnected.

## Names and functions for each part



## 1. DIRECT OUT connector

This is a direct out connector for connection to your recorder or PA system. The polarity is as shown in the diagram.



## 2. POST EQ switch

This selects the point within the preamp circuit from which the Direct Out signal will be taken. With the "PRE" setting, the signal is taken directly from the input, and the amp controls will not affect the sound in any way. With the "POST" setting, the signal is taken from after the effect return, so that all controls other than "VOLUME" will affect the signal. Regardless of this setting, the signal from the CD input is never sent from DIRECT OUT.

## 3. GND LIFT switch

The setting of this switch specifies whether pin 1 of the direct out connector will be connected to the electrical ground of the SW100 itself. If your equipment is connected in a complex way and a ground loop is causing hum, using this switch to disconnect the ground will reduce the hum.

## 4. INPUT jack

This is a 1/4" phone jack input. Use a shielded guitar cable to connect your electric bass guitar to this jack.

## 5. SENSITIVITY switch

This switches the input sensitivity by 5 dB. Use the "HIGH" setting if your bass has passive pickups, or the "LOW" setting if your bass has active pickups.

## 6. PRE AMP CLIP indicator

This indicator will light blue if the preamp, GAIN, and equalizer settings cause the limiter circuit to operate before the "VOLUME" control.

## 7. GAIN control

This controls the gain of the preamp. Raising the level will increase the volume, but after you pass a certain level, a limiter will operate to prevent distortion, and the level will not increase very much. If you continue raising this control, the limiter will apply more strongly, producing an effect as though the threshold were lowered. Adjust this control in conjunction with the EQ and the VOLUME control to get the sound you want.

## 8. BASS control

This is a shelving-type equalizer for the low frequencies. It boosts or cuts the level of the 100 Hz region in a range of  $\pm 15$  dB.

## 9. MIDDLE control

This is the mid-frequency equalizer. It lets you apply up to  $\pm 15$  dB of boost or cut to the region selected by the SELECT switch.

## 10. SELECT switch

This switches the frequency at which the MIDDLE control will apply boost or cut. You can choose either 250 Hz, 500 Hz, or 800 Hz as the frequency.

## 11. TREBLE control

This is a shelving-type equalizer for the high frequencies. It boosts or cuts the level of the region at 4 kHz and above in a range of  $\pm 15$  dB.

## 12. PRESENCE control

This is the ultra-high frequency equalizer. It boosts or cuts the level of the 7.4 kHz region in a range of  $\pm 15$  dB.

## 13. FX MIX control

This controls the proportion at which the external effect sound and the direct sound are mixed. With the EVEN setting, equal amounts of the two are heard. When turned all the way to DRY, only the direct sound is heard. When turned all the way to WET, only the effect sound is heard. This control is active only if an external device is connected to the rear panel EFFECTS RETURN jack.

## 14. VOLUME control

This adjusts the output level of the amp. Simultaneously, it also controls the output level of the CD INPUT.

## 15. CD INPUT jack

These are stereo phono input jacks that can be connected to a portable CD/MD/cassette player or to the headphone output of your stereo system. Use the VOLUME control to adjust the volume.

## 16. LINE OUT jack

This is an output jack with an output level of approximately 0 dBm. You can connect it to an external mixing console or similar equipment.

## 17. HEADPHONES jack

This is a 1/4" output jack for stereo headphones. The sound is not reproduced through the built-in speakers when headphones are in use.

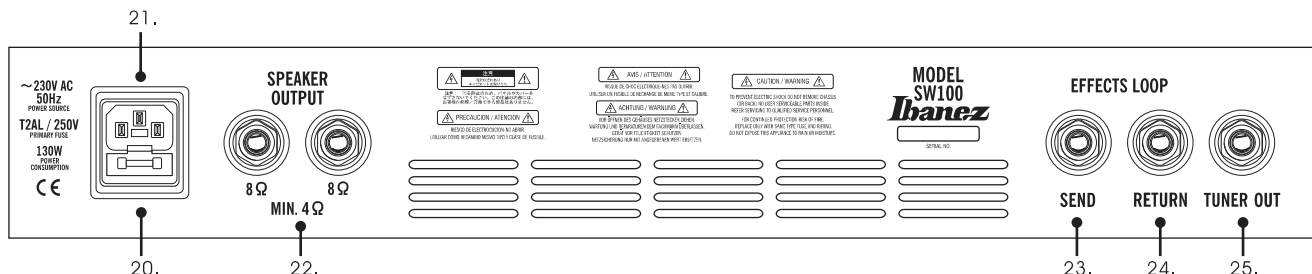
**Warning** The headphone output is capable of producing high volume levels. When using headphones, turn down the VOLUME, and then gradually raise it to adjust the volume. The noise and distorted audio that is produced when the plug is inserted or disconnected at a high volume setting will not only damage your headphones, but may also damage your hearing.

## 18. TWEETER switch

This switches the built-in tweeter on/off.

## 19. POWER switch

This switch turns the power on/off. When you are not using the amp, please leave it turned off.



## 20. Fuse holder

If the fuse has blown, it is possible that a serious problem has occurred internally, so please contact your dealer before replacing the fuse.

## 21. AC inlet

Connect the included AC power cable to this connector. Use this amp only with the input voltage indicated on the panel.

## 22. SPEAKER OUTPUT jack

This is a speaker output jack connected to internal speaker system. In addition to the SW100's internal speaker, you can connect an extension speaker that has an impedance of 8 ohms and power-handling input capacity of 100W or greater.

## 23. EFFECTS LOOP SEND jack

This is an output jack for an effects device. Connect it to the input of your effects device. Although the input and output of this effect loop are suitable for compact effects, they can also be used with rack-mount type effect processors.

## 24. EFFECTS LOOP RETURN jack

This is an input jack for an effects device. Connect the output of your effects device to this input.

## 25. TUNER OUT jack

This is an output for connecting your tuner. You may connect a compact tuner or a rack-mounted tuner to this jack.

# Troubleshooting

## 1. The power supply cannot be switched on.

- Check that the power cable has been connected correctly.
- Try plugging it into a different socket and see if the same problem occurs.

## 2. The power supply can be switched on, but no sound is heard.

- Is your bass connected correctly?
- Do you still hear no sound after removing all external devices such as effect units connected between your bass and the amp, or devices connected in the effect loop?
- Use a different shielded cable and check to see if any sound is heard.
- Is the volume of your bass turned to 0?
- If your bass has active circuitry, has the battery run down?
- Is sound produced when you use another bass?
- Check to see if the volume on the amplifier is set to 101.
- Check to see if the headphones are connected.

## 3. Noise is heard.

- Check to see if anything in the immediate vicinity is resonating or banging against the amplifier to produce the noise.
- If your bass has active circuitry, has the battery run down?
- Is there still noise if you use a different bass or other external devices (e.g., effects) and cable?

## 4. No sound is produced in the headphones

- Check that the headphones are connected correctly.
- Connect another set of headphones and see if sound is produced.

## In case of defects

This product has passed exhaustive inspections before being shipped from the factory. Ensure that the above procedures are carried out when a problem is thought to exist. Contact your dealer in the unlikely event that an abnormality occurs during use. Also, ensure that the symptoms of the problem are explained in detail when requesting repair in order to facilitate swift handling.

Because of improvements to this product, the specifications may change without notice.



# Vorwort

Vielen Dank für den Erwerb des Bassverstärkers SW100 von IBANEZ. Bitte lesen Sie diese Anleitung für eine optimale Nutzung aller Funktionen vor der Inbetriebnahme des Verstärkers aufmerksam durch. Bewahren Sie die Anleitung dann für späteres Nachschlagen an einem sicheren Platz auf.

## Merkmale

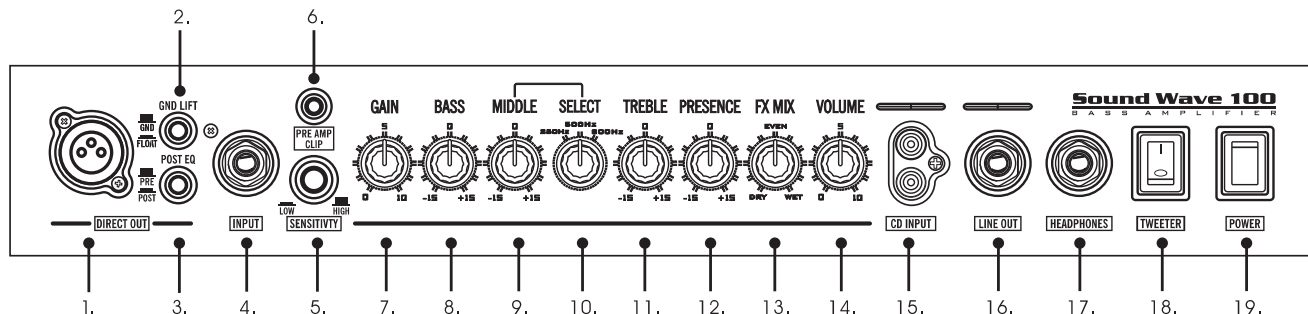
Das Verstärker-Topteil des SW100 hat 100 W Ausgangsleistung, und die Box enthält den leistungsfähigen 15-Zoll-Lautsprecher POWER JAM 1508B von IBANEZ sowie das Piezo-Hochtonhorn PJPT85-2, wodurch Sie beste Sound-Qualität und hohe Leistungsreserven erhalten.

Der EQ des Vorverstärkers ist ein neu entwickelter, aktiver 4-bandiger Equalizer mit einem Regelbereich von  $\pm 15$  dB, der für eine Vielzahl musikalischer Anwendungen geeignet ist und eine umfassende und gleichzeitig feinabgestimmte Regelung bietet. Der SW100 besitzt außerdem einen eingebauten Limiter, der druckvolle Bässe ermöglicht.

## Vorsichtsmaßnahmen für den Betrieb

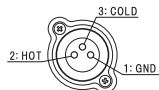
- Den Verstärker vor starken Stößen bewahren, nicht auf den Boden fallen lassen usw.
- Den Verstärker auf festen Untergrund stellen. Der Sound des Verstärkers ist vom Aufstellungsort abhängig.
- Den Verstärker nicht an Orten lagern oder betreiben, an denen das Gerät direkter Sonnenbestrahlung oder extremen Temperatur- und Luftfeuchtigkeitsschwankungen ausgesetzt ist.
- Vor dem Anschluss der geschirmten Kabel für E-Gitarre und Effektgeräte bzw. sonstiger externer Anschlusskabel die Lautstärke auf "0" stellen oder den Verstärker ausschalten. Andernfalls kann das laute Brummen beim Anschließen und Abziehen der Stecker ernsthafte Schäden am Verstärker verursachen.
- Um die Brandgefahr zu verringern, sollten Sie keine Behälter mit Flüssigkeiten auf den Verstärker stellen.
- So lange der SW100 an einer Netzsteckdose angeschlossen ist, ist er nicht vollständig von der Stromversorgung getrennt, auch dann, wenn das Gerät ausgeschaltet ist. Wenn Sie das Gerät vorübergehend nicht benutzen, schalten Sie es aus. Wenn Sie den SW100 für längere Zeit nicht benutzen, ziehen Sie zusätzlich das Netzkabel aus der Steckdose.

## Bezeichnung und Funktion der Teile



## 1. Buchse DIRECT OUT

Dies ist eine Direktausgangsbuchse für den Anschluss an Ihr Aufnahmegerät oder Ihre PA-Anlage. Die Belegung ist in der Abbildung gezeigt.



## 2. Schalter POST EQ

Dieser Schalter wählt den Punkt innerhalb des Vorverstärkers, an dem das Direct-Out-Signal abgegriffen wird. In der Einstellung „PRE“ wird das Signal direkt am Eingang abgenommen, und die Regler des Verstärkers haben keine Auswirkungen auf den Klang. In der Einstellung „POST“ wird das Signal hinter dem Effekt rückweg abgenommen (Effect Return), so dass alle Regler bis auf „VOLUME“ das Signal beeinflussen. Unabhängig von dieser Einstellung wird das Signal vom CD-Eingang niemals zum DIRECT OUT geführt.

## 3. Schalter GND LIFT

Die Einstellung dieses Schalters gibt an, ob Pin 1 der Direktausgangsbuchse an der elektrischen Masse des SW100 angeschlossen ist oder nicht. Wenn Ihr Geräteaufbau sehr komplex ist, so dass Sie eine Brummschleife hören, können Sie mit diesem Schalter das Brummen reduzieren.

## 4. Eingangsbuchse INPUT

Dies ist eine 6,3-mm-Klinkenbuchse. Verwenden Sie ein abgeschirmtes Instrumentenkabel, um Ihren E-Bass hier anzuschließen.

## 5. Schalter SENSITIVITY

Dieser verändert die Eingangsempfindlichkeit um 5 dB. Benutzen Sie die Einstellung „HIGH“, falls Ihr Bass passive Tonabnehmer besitzt, und die Einstellung „LOW“ für aktive Tonabnehmer.

## 6. Anzeige PRE AMP CLIP

Diese Anzeige leuchtet blau, wenn die Einstellungen des Vorverstärkers, des GAIN und der Klangregelung vor dem Regler „VOLUME“ dazu führen, dass der Limiter einsetzt.

## 7. Regler GAIN

Dieser Regler regelt die Verstärkung des Vorverstärkers. Durch Anheben des Pegels steigt die Lautstärke zunächst kontinuierlich, wenn jedoch ein bestimmter Pegel überschritten wird, setzt ein Limiter ein, der Verzerrungen verhindert, und die Lautstärke erhöht sich nicht mehr so stark. Wenn Sie den Regler weiter aufdrehen, wirkt der Limiter immer stärker auf das Signal, und erzeugt dabei einen Effekt, als ob der Threshold-Wert des Limiters verringert würde. Stellen Sie diesen Regler zusammen mit dem EQ und dem Lautstärkeregler VOLUME ein, um den gewünschten Sound zu erreichen.

## 8. Regler BASS

Dies ist ein Niveauregler für die tiefen Frequenzen (Bässe). Er hebt den Pegel aller Frequenzen unterhalb von 100 Hz um 15 dB an oder senkt sie um –15 dB ab.

## 9. Regler MIDDLE

Mit diesem Regler können Sie den Pegel der Frequenz, die mit dem Schalter SELECT gewählt wurde, um 15 dB anheben oder um –15 dB absenken.

## 10. Schalter SELECT

Dieser schaltet die Frequenz um, bei der der Regler MIDDLE anhebt oder absenkt. Sie können wählen zwischen den Frequenzen 250 Hz, 500 Hz oder 800 Hz.

## 11. Regler TREBLE

Dies ist ein Niveauregler für die hohen Frequenzen (Höhen). Er hebt den Pegel aller Frequenzen oberhalb von 4 kHz um 15 dB an oder senkt sie um –15 dB ab.

## 12. Regler PRESENCE

Dies ist ein Bandregler für die hohen Frequenzen (Präsenz). Er hebt den Pegel der Frequenzen im Bereich um 7,4 kHz um 15 dB an oder senkt sie um –15 dB ab.

## 13. Regler FX MIX

Dieser Regler steuert das Verhältnis, in dem der Klang des externen Effektgerätes und der Originalklang gemischt werden. In der Einstellung EVEN sind beide Signalanteile gleich laut zu hören. In der Einstellung DRY ist nur der Originalklang zu hören. In der Einstellung WET ist nur der Effektklang zu hören. Dieser Regler ist nur dann wirksam, wenn ein externes Gerät an der rückseitigen Buchse EFFECTS RETURN angeschlossen ist.

## 14. Regler VOLUME

Dieser Regler regelt die Ausgangslautstärke des Verstärkers. Ebenfalls steuert dieser Regler auch die Lautstärke des Eingangs CD INPUT.

## 15. Buchse CD INPUT

Dies sind die Stereoeingänge (Klinkenbuchsen), an denen ein tragbarer CD- oder MD-Spieler, ein Walkman oder der Kopfhörerausgang Ihrer Stereoanlage angeschlossen werden kann. Stellen Sie die Lautstärke mit dem Regler VOLUME ein.

## 16. Buchse LINE OUT

Dies ist eine Ausgangsbuchse mit einem Ausgangspegel von nominell 0 dBm. Hier können Sie z. B. ein externes Mischpult oder ähnliche Geräte anschließen.

## 17. Kopfhörerbuchse (HEADPHONES)

Diese 1/4"-Zoll-Ausgangsbuchse dient zum Anschließen eines Stereo-Kopfhörers. Wenn Sie das tun, werden die Lautsprecher ausgeschaltet.

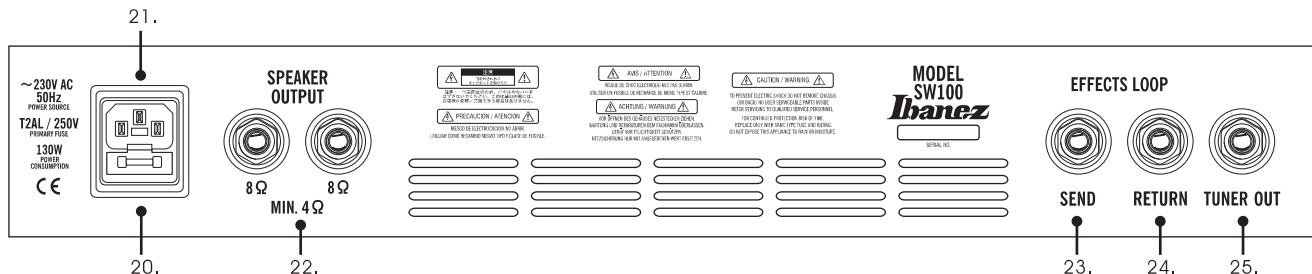
**Warnung** Der Kopfhörerausgang kann sehr hohe Lautstärkepegel erzeugen. Wenn Sie Kopfhörer benutzen, stellen Sie die Lautstärke (VOLUME) auf Null, und regeln Sie dann die Lautstärke allmählich bis zum gewünschten Pegel. Das Geräusch, sowie die Verzerrungen des Tonsignals beim Anschließen oder Herausziehen des Steckers bei hoher Lautstärkeeinstellung, kann nicht nur ihren Kopfhörer zerstören, sondern auch ihr Gehör schädigen.

## 18. Schalter TWEETER

Dieser schaltet den eingebauten Hochtöner ein oder aus.

## 19. Netzschalter POWER

Mit diesem Schalter schalten Sie das Gerät ein und aus. Wenn Sie den Verstärker nicht benutzen, schalten Sie ihn bitte aus.



## 20. Sicherungshalter

Wenn die Sicherung durchgebrannt ist, kann es sein, dass im Innern des Gerätes ein ernsthaftes Problem aufgetreten ist, wenden Sie sich daher bitte an Ihren Händler, bevor Sie die Sicherung ersetzen.

## 21. AC-Eingangsbuchse

Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an dieser Buchse an. Betreiben Sie diesen Verstärker ausschließlich mit der Netzspannung, die am Verstärker angegeben ist.

## 22. Buchse SPEAKER OUTPUT

Dies ist eine Lautsprecherausgangsbuchse, die mit dem internen Lautsprechersystem verbunden ist. Zusätzlich zum eingebauten Lautsprecher des SW100 können Sie einen weiteren Lautsprecher mit einer Impedanz von 8 Ohm und einer Belastbarkeit von mindestens 100 W anschließen.

## 23. Buchse EFFECTS LOOP SEND

Dies ist eine Ausgangsbuchse für ein Effektgerät. Verbinden Sie diese mit dem Eingang Ihres Effektgerätes. Obwohl Ein- und Ausgang dieser Effektschleife für Bodeneffekte geeignet sind, können sie auch in Verbindung mit 19-Zoll-Effektgeräten benutzt werden.

## 24. Buchse EFFECTS LOOP RETURN

Dies ist eine Eingangsbuchse für ein Effektgerät. Schließen Sie hier den Ausgang Ihres Effektgerätes an.

## 25. Buchse TUNER OUT

Dies ist ein Ausgang für den Anschluss Ihres Stimmgeräts. An dieser Buchse können Sie einen Compact Tuner oder ein im Rack montiertes Stimmgerät anschließen.

# Fehlersuche

## 1. Die Netzversorgung lässt sich nicht einschalten.

- Prüfen, ob das Netzkabel korrekt angeschlossen ist.
- Den Netzstecker an eine andere Steckdose anschließen, um zu prüfen, ob hier das gleiche Problem auftritt.

## 2. Die Netzversorgung ist eingeschaltet, aber es wird kein Klang erzeugt.

- Ist Ihr Bass richtig angeschlossen?
- Hören Sie immer noch nichts, obwohl Sie alle externen Geräte wie z. B. Effektgeräte zwischen Ihrem Bass und dem Amp oder in der Effektschleife herausgezogen haben?
- Ein anderes geschirmtes Kabel verwenden und prüfen, ob Sie dann etwas hören.
- Ist der Lautstärkeregler am Bass auf 0 eingestellt?
- Wenn Ihr Bass aktive Schaltkreise besitzt, ist die entsprechende Batterie evtl. leer?
- Ist der Ton zu hören, wenn Sie einen anderen Bass benutzen?
- Prüfen, ob der Lautstärkeregler des Verstärkers auf „0“ gestellt ist.
- Nachschauen, ob ein Kopfhörer angeschlossen ist.

## 3. Es treten Rauschstörungen auf.

- Prüfen, ob ein Gegenstand in der näheren Umgebung Resonanz erzeugt oder gegen den Verstärker schlägt.
- Wenn Ihr Bass aktive Schaltkreise besitzt, ist die entsprechende Batterie evtl. sehr schwach?
- Besteht das Rauschen weiterhin, wenn Sie einen anderen Bass oder andere externe Geräte (z. B. Effekte) oder andere Kabel benutzen?

## 4. Bei Kopfhöreranschluss wird kein Klang erzeugt.

- Prüfen, ob der Kopfhörer korrekt angeschlossen ist.
- Versuchsweise einen anderen Kopfhörer anschließen und prüfen, ob Sie etwas hören.

## Im Falle von Defekten

Der Verstärker wurde im Rahmen der Qualitätskontrolle vor dem Versand gründlich überprüft. Bei eventuellen Problemen den Verstärker deshalb zuerst mit Hilfe der obigen Punkte überprüfen. Sollten während des Betriebs Störungen auftreten, wenden Sie sich bitte an Ihren Fachhändler. Erklären Sie das Problem bei notwendigen Reparaturen bitte möglichst genau, damit sich die Ursache so schnell wie möglich finden lässt. Änderungen der technischen Daten im Hinblick auf Produktverbesserungen ohne Vorankündigung jederzeit vorbehalten.

## Avant-propos

Nous vous remercions d'avoir porté votre choix sur l'amplificateur de basses IBANEZ SW100. Veuillez lire attentivement ce mode d'emploi avant d'utiliser votre ampli afin de pouvoir tirer le meilleur parti de ses nombreuses caractéristiques. Conservez précieusement ce mode d'emploi, car il pourra vous être utile ultérieurement.

## Caractéristiques

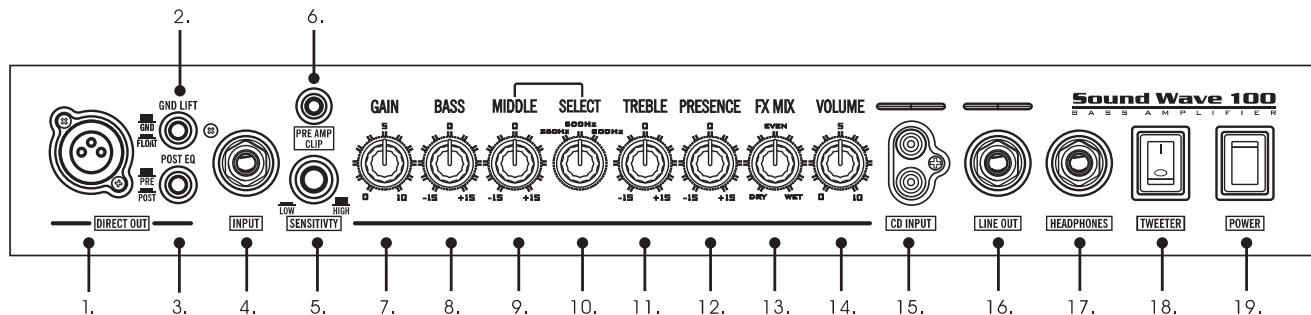
L'amplificateur SW100 délivre une puissance de 100W et il est équipé d'un puissant haut-parleur IBANEZ POWER JAM 1508B original de 15 pouces muni d'un tweeter piézo PJPT85-2. Ceci lui procure la meilleure qualité sonore qui soit et une grande versatilité.

L'égaliseur du préampli est un égaliseur actif à quatre voies de nouvelle conception qui fonctionne sur une plage de  $\pm 15$  dB et offre de nombreuses possibilités. Il présente une plage de réglages très vaste et précise. Le SW100 possède également un limiteur interne qui améliore les basses fréquences.

## Précautions durant l'utilisation

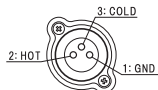
- Des chocs violents risquent d'endommager l'amplificateur. Veuillez le manipuler avec soin et ne pas le laisser tomber.
- Installez l'amplificateur en veillant à ce qu'il soit sur une surface bien stable. Le son de l'amplificateur change en fonction de l'emplacement choisi et de la position dans laquelle vous l'installez.
- Veillez à ne pas utiliser ni ranger l'ampli dans un endroit en plein soleil ou soumis à des températures extrêmes ou encore à un niveau d'humidité trop élevé.
- Réduisez le volume à "0" ou coupez l'alimentation lorsque vous raccordez le câble blindé d'une guitare ou d'un effet, ou d'autres câbles nécessaires aux connexions externes. Notez que le craquement engendré lors du branchement ou du débranchement des fiches risque de gravement endommager l'amplificateur.
- Pour éviter tout risque d'incendie, ne jamais placer de récipients contenant du liquide sur l'amplificateur.
- Tant que le SW100 est raccordé à une prise électrique, il n'est pas complètement isolé de l'alimentation secteur même si son interrupteur principal est éteint. Toujours éteindre l'interrupteur lorsque l'appareil ne doit pas être utilisé. Si le SW100 ne doit pas être utilisé pendant une longue période, débrancher le câble d'alimentation.

## Noms et fonctions des diverses sections



## 1. Connecteur DIRECT OUT

Ce connecteur de sortie directe permet une connexion à votre enregistreur ou système de sonorisation. La polarité correspond à celle indiquée sur le schéma.



## 2. Commutateur POST EQ

Sélectionne le point du circuit du préampli depuis lequel le signal de sortie directe est récupéré. Le réglage "PRE" permet de récupérer le signal directement à l'entrée et les commandes de l'ampli n'affectent le son en aucune manière. Le réglage "POST" permet de récupérer le signal après le retour d'effet de sorte que toutes les commandes autres que "VOLUME" affectent le signal. Quel que soit ce réglage, le signal de l'entrée CD n'est jamais envoyé depuis DIRECT OUT.

## 3. Commutateur GND LIFT

Le réglage de ce commutateur indique si la broche 1 du connecteur de sortie directe est reliée à la prise de terre du SW100. Si votre équipement est connecté de manière complexe et qu'une boucle de masse provoque un bourdonnement, l'utilisation de ce commutateur pour se déconnecter de la prise de terre réduit le bourdonnement.

## 4. Prise INPUT

Prise d'entrée des fiches de 1/4". La guitare basse électrique se raccorde à cette prise à l'aide d'un câble pour guitare blindé.

## 5. Commutateur SENSITIVITY

Modifie la sensibilité d'entrée de 5 dB. Utilisez le réglage "HIGH" si votre basse dispose de micros passifs ou le réglage "LOW" si votre basse dispose de micros actifs.

## 6. Indicateur PRE AMP CLIP

S'allume en bleu si les réglages de préampli, de gain et d'égaliseur activent le limiteur avant la commande "VOLUME".

## 7. Commande GAIN

Contrôle le gain du préampli. L'augmentation du niveau du gain augmente le volume mais, après un certain niveau, un limiteur s'active pour éviter la distorsion et le niveau n'augmentera plus beaucoup. Si vous continuez d'augmenter la commande, l'application du limiteur sera plus intense et donnera l'impression que le seuil a été abaissé. Régler cette commande conjointement avec la commande EQ et VOLUME pour obtenir le son souhaité.

## 8. Commande BASS

C'est un égaliseur de type à étages pour les basses fréquences. Il permet d'accentuer ou de réduire le niveau de la zone des 100 Hz sur une plage de  $\pm 15$  dB.

## 9. Commande MIDDLE

Permet d'accentuer ou de réduire sur une plage de  $\pm 15$  dB le niveau de la zone sélectionnée à l'aide du commutateur SELECT.

## 10. Commutateur SELECT

Sélectionne la fréquence à laquelle la commande MIDDLE applique l'amplification ou la réduction. Vous pouvez choisir une fréquence de 250 Hz, 500 Hz ou 800 Hz.

## 11. Commande TREBLE

C'est un égaliseur de type à étages pour les hautes fréquences. Il permet d'accentuer ou de réduire le niveau de la zone au-delà des 4 kHz sur une plage de  $\pm 15$  dB.

## 12. Commande PRESENCE

C'est l'égaliseur des ultra-hautes fréquences. Il permet d'accentuer ou de réduire le niveau de la zone des 7,4 kHz sur une plage de  $\pm 15$  dB.

## 13. Commande FX MIX

Contrôle le mélange du son provenant d'un effet externe avec le son direct. Le réglage EVEN permet de mixer les deux sons en quantité égale. Lorsque cette commande est réglée sur DRY, seul le son direct est entendu. Lorsqu'elle est réglée sur WET, seul l'effet sonore est entendu. Cette commande n'est active que si un effet externe est connecté à la prise EFFECTS RETURN du panneau arrière.

## 14. Commande VOLUME

Permet de régler le niveau de sortie de l'ampli. Cette commande contrôle aussi simultanément le niveau de sortie de la prise CD INPUT.

## 15. Prise CD INPUT

Prise d'entrée jack stéréo destinée à la connexion d'un lecteur de CD/MD/cassette ou au raccordement à la sortie "casque d'écoute" d'une chaîne stéréo. Utiliser la commande VOLUME pour régler le volume.

## 16. Prise LINE OUT

C'est une sortie d'un niveau d'environ 0 dBm. Elle permet le raccordement à une console de mixage ou à tout équipement similaire.

## 17. Prise HEADPHONES

Cette prise de 1/4" permet de raccorder un casque d'écoute stéréo. Le son des haut-parleurs intégrés est coupé lorsque vous branchez un casque d'écoute à cette prise.

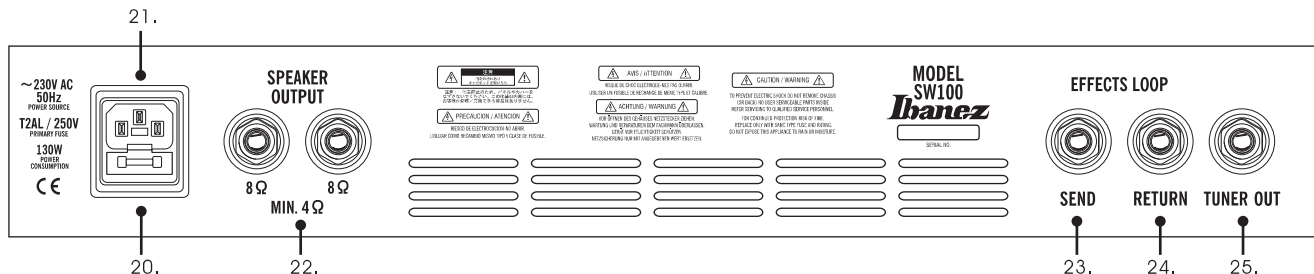
**Avertissement** Le casque d'écoute peut délivrer un volume sonore élevé. Toujours baisser le VOLUME lors de l'utilisation d'un casque puis l'augmenter progressivement pour atteindre le niveau souhaité. Le bruit et les signaux déformés engendrés lors du branchement ou du débranchement des fiches à des niveaux de volume élevés risquent d'endommager non seulement le casque mais également l'oreille.

## 18. Commutateur TWEETER

Met le tweeter intégré en/hors fonction.

## 19. Commutateur POWER

C'est le commutateur de mise sous et hors tension. Ne pas oublier de le mettre sur OFF lorsque l'ampli n'est pas utilisé.



## 20. Logement du fusible

Si le fusible a sauté, il se peut qu'un grave problème se soit produit à l'intérieur de l'ampli. Contacter le revendeur avant de remplacer le fusible.

## 21. Entrée AC

C'est la prise qui sert à raccorder le câble d'alimentation secteur. Utiliser uniquement cet ampli en respectant la tension d'entrée indiquée sur le panneau.

## 22. Prise SPEAKER OUTPUT

Prise de sortie haut-parleurs provenant du circuit haut-parleurs interne. Outre les haut-parleurs internes du SW100, vous pouvez connecter un haut-parleur supplémentaire d'une impédance de 8 ohms et d'une capacité de charge d'entrée supérieure ou égale à 100V.

## 23. Prise EFFECTS LOOP SEND

C'est une prise de sortie d'effet externe. La raccorder à la prise d'entrée de l'effet. Bien que l'entrée et la sortie de cette boucle d'effets conviennent pour des effets compacts, elles peuvent également être utilisées avec des processeurs d'effets en rack.

## 24. Prise EFFECTS LOOP RETURN

C'est une prise d'entrée pour un effet externe. La raccorder à la prise de sortie du processeur d'effets.

## 25. Prise TUNER OUT

Sortie permettant de connecter votre accordeur. Vous pouvez connecter à cette prise un accordeur compact ou en rack.

# Dépannage

## 1. Impossible de mettre l'amplificateur sous tension

- Vérifiez si le cordon d'alimentation est raccordé correctement.
- Essayez de le brancher à une autre prise secteur pour voir si le problème persiste.

## 2. L'amplificateur peut être mis sous tension mais ne produit aucun son.

- Votre basse est-elle raccordée correctement ?
- N'entendez-vous toujours aucun son après avoir retiré tous les appareils externes, comme des d'effets raccordés entre la basse et l'ampli, ou des effets raccordés à la boucle d'effets ?
- Utilisez un autre câble blindé pour voir si cela ne permet pas de résoudre le problème.
- Le volume de la basse est-il sur 0 ?
- Si la guitare basse est dotée de circuits actifs, vérifier l'état de la pile.
- Utilisez une autre guitare basse pour voir si le son est reproduit.
- Vérifiez si le volume de l'amplificateur n'est pas réglé sur "0".
- Vérifiez si le casque d'écoute est raccordé, ce qui aurait pour effet de couper le haut parleur.

## 3. L'ampli émet des bruits parasites.

- Vérifiez si l'amplificateur n'est pas installé à proximité d'une source de résonance ou si le bruit ne provient pas d'un objet heurtant l'ampli.
- Si la guitare basse est dotée de circuits actifs, vérifier l'état de la pile.
- Le bruit est-il toujours présent lors de l'utilisation d'une autre guitare basse, de processeurs externes (par ex. effets) ou d'un autre câble ?

## 4. Pas de son au casque d'écoute

- Vérifiez si le casque d'écoute est branché correctement.
- Testez la sortie en essayant un autre casque.

## En cas d'anomalie

Cet appareil a subi une inspection rigoureuse avant sa sortie d'usine. Si l'amplificateur vous semble présenter une anomalie, effectuez les opérations ci-dessus. Dans le cas peu probable où vous rencontreriez un problème pendant l'utilisation, consultez votre revendeur. Par ailleurs, lorsque vous envoyez l'amplificateur en réparation, veillez à décrire correctement tous les symptômes de la panne; cela permettra d'accélérer les travaux de réparation.

Nous nous réservons le droit de modifier les données techniques sans avis préalable en vue d'améliorer ce produit.

## Prólogo

Gracias por adquirir el amplificador de bajo Ibanez SW100. Para sacarle el máximo partido a las funciones que ofrece este amplificador, antes de utilizarlo lea atentamente este manual. Seguidamente guarde el manual en un lugar seguro.

## Características

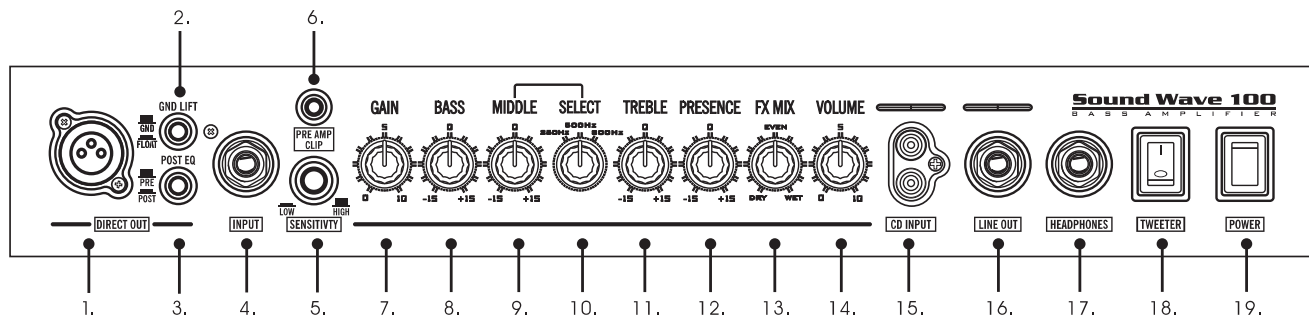
El amplificador SW100 dispone de una potencia de salida de 100W y utiliza un potente altavoz original Ibanez POWER JAM 1508B de 15 pulgadas junto con un tweeter piezoeléctrico PJPT85-2 que ofrecen una calidad de sonido y comodidad máximas.

El preamplificador dispone de un ecualizador activo de 4 bandas recientemente diseñado, con una amplitud de  $\pm 15$  dB, que cubre un amplio abanico de necesidades en cuanto a prestaciones y permite la realización de ajustes amplios y al mismo tiempo detallados. El SW100 incluye asimismo un limitador interno.

## Precauciones durante la utilización

- No exponga el amplificador a golpes por caídas, etc. ni lo trate de forma brusca.
- Instale el amplificador con cuidado en un lugar estable. El sonido del amplificador variará en función de la forma y el lugar donde esté instalado.
- No utilice ni guarde el amplificador en lugares que estén expuestos a la luz directa del sol ni en ambientes expuestos a niveles extremos de temperatura y humedad.
- Reduzca el volumen a "0" o apague el amplificador cuando vaya a conectar el cable blindado del bajó de los efectos u otros cables necesarios para efectuar una conexión externa. Tenga en cuenta que el ruido generado al introducir y extraer las clavijas puede ocasionar graves daños al equipo.
- Para evitar posibles incendios, no coloque recipientes de líquidos sobre el amplificador.
- Mientras el SW100 esté conectado a una toma de corriente, no está completamente aislado de la fuente de alimentación aún cuando el interruptor de alimentación esté desconectado. Cuando no utilice el amplificador, manténgalo apagado. Cuando no vaya a utilizar el SW100 durante largo tiempo, desenchufe el cable de alimentación.

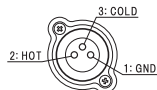
## Nombres y funciones de los componentes





## 1. Conector de salida directa (DIRECT OUT)

Este es un conector de salida directa para conectar una grabadora o un sistema de megafonía. La polaridad es la que se indica en el diagrama.



## 2. Interruptor de postecualización (POST EQ)

Con este interruptor se selecciona el punto del circuito de preamplificación a partir del cual se tomará la señal de salida directa. Si se selecciona "PRE", la señal se toma directamente de la entrada y los controles del amplificador no afectan al sonido en modo alguno. Si se selecciona "POST", la señal se toma después del retorno de efectos, por lo que todos los controles, salvo "VOLUME", afectan a la señal. Independientemente de la posición de este interruptor, la señal procedente de la entrada de CD no se envía nunca desde DIRECT OUT.

## 3. Interruptor de puesta a tierra directa (GND LIFT)

Con este interruptor se especifica si la clavija 1 del conector de salida directa se conecta a la toma de tierra eléctrica del propio SW100. Si el equipo está conectado de una forma compleja y hay un bucle de tierra que provoca zumbidos, desconecte la puesta a tierra con este interruptor para reducir el zumbido.

## 4. Toma de entrada (INPUT)

Esta es una entrada con toma telefónica de 1/4 de pulgada. Utilice un cable blindado para conectar el bajo eléctrico a esta toma.

## 5. Conmutador de sensibilidad (SENSITIVITY)

Con este conmutador se puede variar la sensibilidad de entrada en 5 dB. Utilice la posición "HIGH" (alta) si el bajo dispone de pastillas pasivas o la posición "LOW" (baja) si el bajo dispone de pastillas activas.

## 6. Indicador de corte de preamplificación (PRE AMP CLIP)

Este indicador se ilumina en azul si los parámetros de preamplificación, GANANCIA y ecualización provocan la activación del circuito limitador antes del control de volumen "VOLUME".

## 7. Control de ganancia (GAIN)

Permite controlar la ganancia del preamplificador. Cuando se aumenta el nivel se eleva el volumen, pero después de pasar un determinado nivel, se activará un limitador para evitar la distorsión y no aumentar demasiado el nivel. Si continúa aumentando este control, el limitador funcionará con mayor intensidad y producirá un efecto como si hubiera disminuido el umbral de limitación. Ajuste este control conjuntamente con el ecualizador (EQ) y el control de volumen (VOLUME) para obtener el sonido que desee.

## 8. Control de graves (BASS)

Este es un ecualizador gráfico para las frecuencias bajas. Permite acentuar o atenuar el nivel de la región de 100 Hz en una amplitud de  $\pm 15$  dB.

## 9. Control de medios (MIDDLE)

Permite acentuar o atenuar el nivel de la región seleccionada en una amplitud de  $\pm 15$  dB con el interruptor "SELECT".

## 10. Selector (SELECT)

Permite seleccionar la frecuencia en la cual el control de medios (MIDDLE) aplicará el refuerzo o la atenuación. Puede escoger las frecuencias de 250 Hz, 500 Hz o 800 Hz.

## 11. Control de agudos (TREBLE)

Este es un ecualizador gráfico para las frecuencias altas. Permite acentuar o atenuar el nivel de la región a partir de 4 kHz en una amplitud de  $\pm 15$  dB.

## 12. Control de presencia (PRESENCE)

Este es el ecualizador de frecuencias ultra-altas. Permite acentuar o atenuar el nivel de la región de 7,4 kHz en una amplitud de  $\pm 15$  dB.

## 13. Control de mezcla FX (FX MIX)

Permite controlar la proporción en la cual se mezclan los efectos externos y el sonido directo. En la posición EVEN (igual) se oyen ambos en la misma proporción. Cuando se gira completamente a la posición DRY (seco) sólo se oye el sonido directo. Cuando se gira completamente a la posición WET (húmedo) sólo se oyen los efectos. Este control sólo está activo cuando hay un dispositivo externo conectado a la toma EFFECTS RETURN (retorno de efectos) del panel posterior.

## 14. Control de volumen (VOLUME)

Este control ajusta el nivel de salida del amplificador. También controla de forma simultánea el nivel de salida de la entrada para CD (CD INPUT).

## 15. Toma de entrada de CD (CD INPUT)

Estas son tomas de entrada estereofónica que pueden conectarse a un reproductor de CD/MD/casete portátil o a la salida para auriculares de su equipo estéreo. Utilice el control de volumen (VOLUME) para ajustar el volumen.

## 16. Toma de salida de línea (LINE OUT)

Esta es una toma de salida con un nivel de salida de aproximadamente 0 dBm. Es posible conectarla con una mesa de mezclas externa o equipo similar.

## 17. Toma de auriculares (HEADPHONES)

Toma de salida de 1/4 de pulgada para auriculares estereofónicos. Cuando se utilizan los auriculares la reproducción de sonido por los altavoces incorporados queda desactivada.

**Advertencia** La salida para auriculares produce un sonido de elevado volumen. Cuando vaya a utilizar auriculares, primero reduzca el volumen y luego súbalo gradualmente para ajustarlo hasta el nivel requerido. El ruido y el sonido distorsionado que se producen al insertar o desconectar la clavija a altos niveles de volumen no sólo ocasionarán daños a los auriculares, sino que también podrá dañar sus oídos.

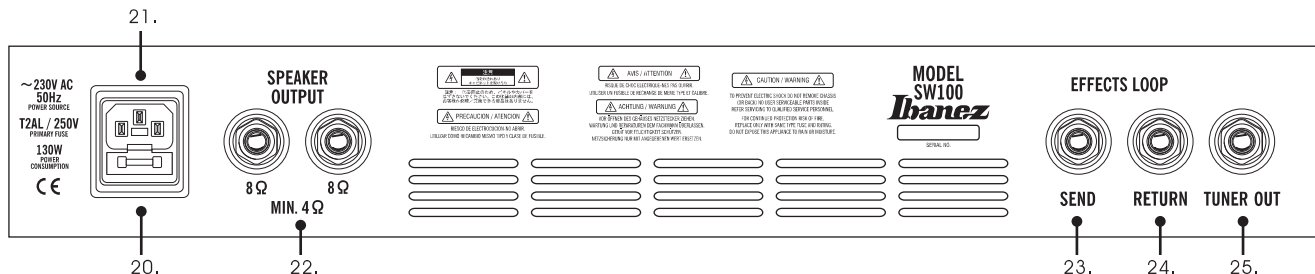
## 18. Interruptor de tweeter (TWEETER)

Este interruptor permite conectar y desconectar el tweeter incorporado.

## 19. Interruptor de alimentación (POWER)

Este interruptor permite conectar y desconectar el aparato. Cuando no utilice el amplificador, asegúrese de que este interruptor esté desactivado.





## 20. Portafusible

Cuando se quema un fusible es probable que se haya producido un problema serio internamente, de modo que debe ponerse en contacto con su distribuidor antes de sustituir el fusible.

## 21. Toma de corriente alterna (AC)

Conecte el cable de alimentación de corriente alterna (CA) a este conector. Utilice este amplificador únicamente con la tensión de entrada indicada en el panel.

## 22. Toma de salida para altavoces (SPEAKER OUTPUT)

Esta es una toma de salida para altavoces conectada al sistema de altavoces interno. Además del altavoz interno del SW100, puede conectar un altavoz adicional que tenga una impedancia de 8 ohm y una potencia de entrada admisible de 100W o superior.

## 23. Toma de salida de efectos en bucle (EFFECTS LOOP SEND)

Esta es una toma de salida para un dispositivo de efectos. Conéctela a la salida de su dispositivo de efectos. Aunque la entrada y salida de este bucle de efectos resultan adecuadas para procesadores compactos de efectos, también pueden utilizarse con procesadores de efectos montados en bastidor.

## 24. Toma de retorno de efectos en bucle (EFFECTS LOOP RETURN)

Esta es una toma de entrada para un dispositivo de efectos. Conecte la salida de su dispositivo de efectos a esta entrada.

## 25. Toma de salida para afinador (TUNER OUT)

Esta salida sirve para conectar un afinador. En esta toma puede conectar un afinador compacto o un afinador montado en bastidor.

# Localización de problemas

## 1. No se puede conectar la alimentación.

Compruebe que el cable de alimentación esté correctamente enchufado. Intente enchufarlo a una toma de corriente diferente y observe si persiste el problema.

## 2. Se puede conectar la alimentación, pero no se obtiene sonido.

- ¿El bajo está correctamente conectado?
- ¿Continúa sin obtener sonido después de desconectar todos los dispositivos externos como, por ejemplo, las unidades de efectos conectadas entre el bajo y el amplificador o los dispositivos conectados para efectos en bucle?
- Utilice un cable blindado diferente y compruebe si se obtiene algún sonido.
- ¿El volumen del bajo está puesto a 0?
- En caso de que el bajo tenga circuitos activos, ¿se han agotado las pilas?
- ¿Obtiene sonido cuando utiliza otro bajo?
- Compruebe si el volumen del amplificador está en "0".
- Compruebe si están conectados los auriculares.

## 3. Se oye ruido.

Compruebe si hay algo cerca que esté resonando o golpeando contra el amplificador y produzca el ruido.

En caso de que el bajo tenga circuitos activos, ¿se han agotado las pilas?

¿Se produce el mismo ruido cuando utiliza un bajo diferente u otros dispositivos externos (p.ej. efectos) y cable?

## 4. No se produce sonido en los auriculares

Compruebe que los auriculares estén correctamente conectados.

Conecte otros auriculares y compruebe si se produce sonido.

## En caso de defectos

Este producto ha sido revisado exhaustivamente antes de salir de fábrica. Cuando piense que existe un problema, realice los procedimientos indicados más arriba. En el caso improbable de que se produjera alguna anomalía durante la utilización, póngase en contacto con su distribuidor. Además, cuando solicite reparaciones, explique con detalle los síntomas del problema para facilitar su rápida resolución.

Debido a las mejoras de este producto, las especificaciones pueden cambiar sin previo aviso.

## Introduzione

Grazie per aver acquistato l'amplificatore per basso IBANEZ SW100. Leggere attentamente questo manuale prima di usare l'amplificatore in modo da sfruttarne appieno le caratteristiche e le funzioni disponibili. Conservare quindi il manuale in un luogo sicuro.

## Caratteristiche

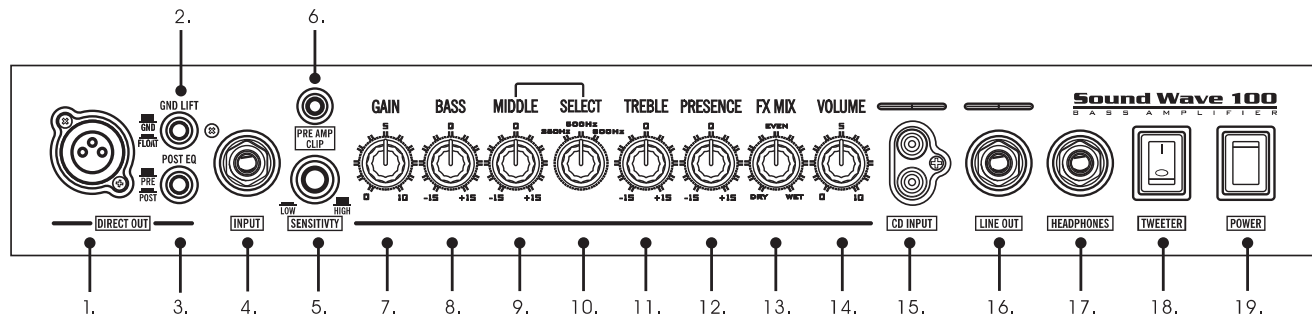
L'amplificatore SW100 prevede 100W di uscita. La sezione diffusori utilizza un potente altoparlante POWER JAM 1508B originale IBANEZ da 15" e un horn tweeter PJPT85-2 piezo, che garantiscono un suono di alta qualità unito a una grande facilità d'uso.

Il preamplificatore è dotato di un equalizzatore attivo a 4 bande di nuova concezione, con gamma  $\pm 15$  dB, le cui prestazioni soddisfano ampiamente le più diverse necessità con una possibilità di regolazione ampia e molto precisa. L'SW100 è fornito anche di un limitatore interno, che permette di ottenere un suono con grande attacco alle basse frequenze.

## Precauzioni durante l'uso

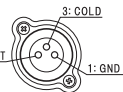
- Non sottoporre l'amplificatore a forti impatti facendolo cadere, ecc., e maneggiarlo con cura.
- Installare l'amplificatore in una posizione stabile. Il suono prodotto dall'amplificatore è diverso a seconda del metodo e del luogo in cui è installato.
- Non usare o depositare l'amplificatore in luoghi in cui sia esposto a luce solare diretta, o in ambienti soggetti a notevoli sbalzi di temperatura e umidità.
- Portare il livello del volume a "0" o spegnere l'amplificatore mentre si collegano il cavo schermato della chitarra e gli effetti oppure altri cavi richiesti per il collegamento esterno. Fare attenzione poiché il rumore generato quando si inseriscono e tolgono le spine può causare seri guasti all'apparecchiatura.
- Per evitare rischi di incendio, non porre contenitori di liquidi sull'amplificatore.
- Quando l'SW100 è collegato ad una presa elettrica, non è completamente isolato dall'alimentazione anche se l'interruttore power è spento. Quando non lo si utilizza, spegnere l'interruttore power. Se non si utilizza l'SW100 per un lungo periodo, lasciare il cavo di alimentazione scollegato.

## Nomenclatura e funzioni



## 1. Connettore DIRECT OUT

Connettore per uscita diretta al registratore o al sistema PA. La polarità è quella indicata nel diagramma.



## 2. Interruttore POST EQ

Seleziona il punto nel circuito di preamplificazione da cui il segnale Direct Out sarà preso. Con impostazione "PRE", il segnale viene preso direttamente dall'ingresso e i comandi dell'amplificatore non influenzano in alcun modo l'audio. Con impostazione "POST", il segnale viene preso dopo il ritorno dell'effetto, in modo che tutti i comandi, tranne "VOLUME", hanno effetto sul segnale. Qualsiasi sia l'impostazione, il segnale dell'ingresso CD non è mai inviato da DIRECT OUT.

## 3. Interruttore GND LIFT

L'impostazione di questo interruttore specifica se il piedino 1 del connettore direct out viene collegato alla massa dello stesso SW100. Se l'attrezzatura è collegata in modo complesso e una massa ad anello causa ronzii, si avrà una diminuzione del ronzio usando questo interruttore per scollegare la massa.

## 4. Presa a jack INPUT

Terminale di ingresso per jack di 6,3 mm standard. Serve per collegare il basso mediante l'uso di un cavo schermato per basso.

## 5. Interruttore SENSITIVITY

Modifica la sensibilità dell'ingresso di 5 dB. Utilizzare l'impostazione "HIGH" se il basso ha un pickup passivo, o l'impostazione "LOW" se il basso ha un pickup attivo.

## 6. Spia PRE AMP CLIP

Questa spia si illumina di blu se le impostazioni di preamplificatore, GAIN e equalizzatore fanno funzionare il circuito del limitatore prima del comando "VOLUME".

## 7. Comando GAIN

Comando del guadagno del preamplificatore. Aumentando il livello si aumenterà il volume, ma, superato un dato livello, interverrà un limitatore per impedire la distorsione e il livello aumenterà in misura minore. Se si continua ad aumentare il comando, il limitatore interverrà in modo ancora più marcato producendo un effetto simile a un abbassamento della soglia. Regolare questo comando insieme all'equalizzatore e al comando VOLUME per ottenere il suono desiderato.

## 8. Comando BASS

Equalizzatore di smorzamento per le basse frequenze. Amplifica o taglia il livello della larghezza di banda 100 Hz in passi di  $\pm 15$  dB.

## 9. Comando MIDDLE

Consente di applicare un'amplificazione o un taglio di  $\pm 15$  dB al livello della larghezza di banda scelta con l'interruttore SELECT.

## 10. Interruttore SELECT

Commuta la frequenza a cui il comando MIDDLE applica amplificazione o taglio. È possibile scegliere tra le seguenti frequenze: 250 Hz, 500 Hz o 800 Hz.

## 11. Comando TREBLE

Equalizzatore di smorzamento per suoni della gamma delle frequenze alte. È possibile amplificare o tagliare la larghezza di banda di 4 kHz, o più, in passi di  $\pm 15$  dB.

## 12. Comando PRESENCE

Equalizzatore per le frequenze ultra alte. È possibile amplificare o tagliare la larghezza di banda di 7,4 kHz, o più, in passi di  $\pm 15$  dB.

## 13. Comando FX MIX

Comando della proporzione in cui sono mixati l'audio effetto esterno e l'audio diretto. Con impostazione EVEN, si ascoltano quantità simili dei due tipi di audio. Se impostato completamente su DRY, si ascolta solo l'audio diretto. Se impostato completamente su WET, si ascolta solo l'audio effetto. Il comando è attivo solo se un dispositivo esterno viene collegato al terminale jack EFFECTS RETURN del pannello posteriore.

## 14. Comando VOLUME

Regolazione del livello di uscita dell'amplificatore. Il comando VOLUME controlla simultaneamente anche il livello di uscita di CD INPUT.

## 15. Terminale a jack CD INPUT

Terminali di ingresso a jack fono stereo che possono essere collegati ad un lettore portatile di CD/MD/cassette o all'uscita per le cuffie dell'impianto stereo. Utilizzare il comando VOLUME per regolare il volume. Questi ingressi non sono adatti al collegamento dei terminali a jack LINE OUT.

## 16. Terminale a jack LINE OUT

Terminale di uscita a jack con un livello di uscita di circa 0 dBm. È possibile collegarlo ad una console di missaggio esterna o ad una attrezzatura simile.

## 17. Presa a jack HEADPHONES

Presa di uscita cuffie stereo con jack di 1/4" che permette il collegamento di cuffie. Il suono non viene riprodotto dai diffusori incorporati quando le cuffie sono in uso.

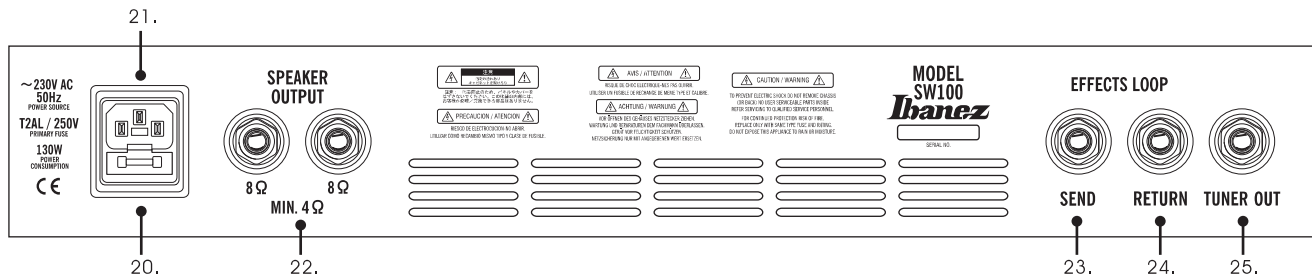
**Attenzione** L'uscita cuffie può produrre un volume molto alto. Quando si utilizzano le cuffie, abbassare il VOLUME e quindi aumentarlo gradualmente per regolare il volume. Il rumore e la distorsione audio prodotti dall'eventuale inserimento o disinserimento del jack a volume alto potrebbe danneggiare sia le cuffie che l'utente.

## 18. Interruttore TWEETER

Accende/spegne il tweeter incorporato.

## 19. Interruttore POWER

Questo interruttore spegne/accende l'alimentazione. Quando non si utilizza l'amplificatore, lasciarlo spento.



## 20. Portafusibile

Se il fusibile si brucia, è possibile che si sia verificato un grave problema interno; si prega di contattare il proprio rivenditore prima di sostituire il fusibile.

## 21. Ingresso AC

Collegare a questo connettore il cavo di alimentazione CA in dotazione. Utilizzare questo amplificatore solo con una tensione di ingresso pari a quella indicata sul pannello.

## 22. Terminale a jack SPEAKER OUTPUT

Terminale di uscita a jack del diffusore collegato al sistema di diffusori interni. Oltre al diffusore interno dell'SW100, è possibile collegare un diffusore aggiuntivo con impedenza di 8 ohm ed un ingresso con capacità di alimentazione di 100W o maggiore.

## 23. Terminale a jack EFFECTS LOOP SEND

Terminale di uscita a jack per effetti. Collegare all'uscita dell'effetto. Sebbene l'ingresso e l'uscita di questo effect loop siano adatti ad effetti compatti, possono essere utilizzati anche per processori di effetti tipo rack-mount.

## 24. Terminale a jack EFFECTS LOOP RETURN

Terminale di ingresso a jack per effetti. Collegare l'uscita dell'effetto a questo ingresso.

## 25. Terminale a jack TUNER OUT

Uscita per il collegamento dell'accordatore. È possibile collegare un accordatore compatto o un accordatore a rack a questo terminale.

# Risoluzioni di problemi

## 1. L'apparecchiatura non si accende.

- Controllare che il cavo di alimentazione sia stato collegato correttamente.
- Provare a inserire la spina in una presa differente e vedere se si verifica lo stesso problema.

## 2. L'apparecchiatura si accende ma non viene udito alcun suono

- Il basso è collegato correttamente?
- Non si percepisce nessun suono anche dopo aver scollegato tutti i dispositivi esterni come gli effetti collegati tra basso ed amplificatore o al loop effetti?
- Utilizzare un cavo schermato diverso e verificare se viene udito un suono.
- Il volume del basso è su 0?
- (Se il basso ha circuiti attivi) la batteria è scarica?
- C'È audio quando si utilizza un altro basso?
- Verificare se il volume dell'amplificatore è regolato su "0".
- Verificare se le cuffie sono collegate.

## 3. Si sente un rumore

- Verificare se niente nell'immediata vicinanza è risonante o batte contro l'amplificatore e produce il rumore.
- (Se il basso ha circuiti attivi) la batteria è scarica?
- C'è ancora rumore quando si utilizza un basso diverso o un altro dispositivo esterno con cavo (ad esempio un effetto)?

## 4. Nessun suono è prodotto nelle cuffie

- Controllare che le cuffie siano inserite correttamente nella presa.
- Collegare un altro paio di cuffie e verificare se il suono è prodotto.

## In caso di difetti:

Questo prodotto è stato sottoposto a rigide ispezioni prima di essere spedito dalla fabbrica. Accertarsi che i procedimenti sopraelencati siano eseguiti quando si pensa di trovarsi di fronte a un problema. Rivolgersi al rivenditore nell'improbabile eventualità che si verifichi qualche anomalia durante l'uso. Inoltre, accertarsi che le caratteristiche del problema vengano spiegate dettagliatamente quando si richiede una riparazione in modo da facilitarne una esecuzione rapida.

Date le migliori apportate al questo prodotto, le specifiche possono cambiare senza previo avviso.

## 前言

感谢您购买 IBANEZ SW100 低音功率放大器。为最大限度地发挥其功能，使用前请仔细阅读本手册，并妥善保管。

## 功能

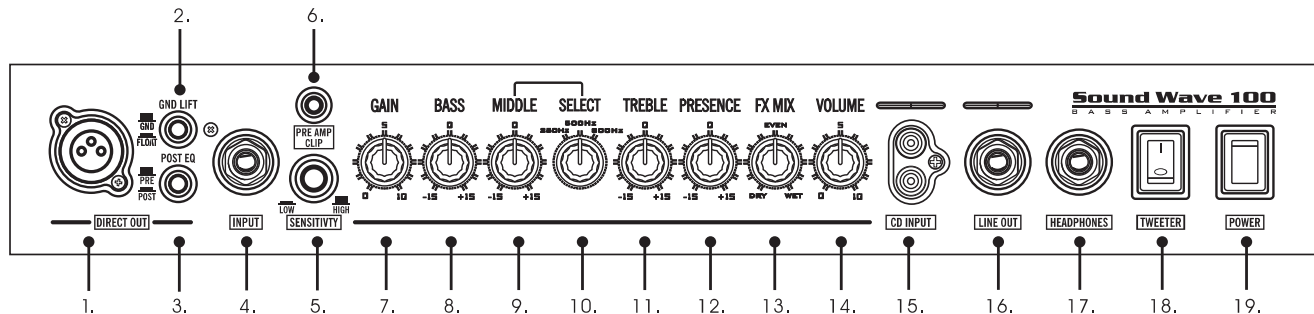
SW100 功率放大器拥有 100W 的输出功率，扬声器部分采用功率强大的 IBANEZ 原装 15 英寸 POWER JAM 1508B 扬声器以及 PJPT85-2 压电高频扬声器，可使您轻松获得顶级的音响品质。

前置放大均衡器 (EQ) 是一款全新设计的 4 波段有源均衡器 (EQ)，拥有  $\pm 15\text{dB}$  调整范围，可满足广泛的演奏需求，并可在宽广范围内进行精细的调整。SW100 还配有内部限制器，可产生强有力的低音效果。

## 使用过程中的注意事项

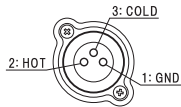
- 请不要让本功率放大器因跌落等而受到撞击，也不要以任何粗暴方式操作本机。
- 请将本功率放大器小心置于平地。功率放大器的音响效果会随放置方式和位置的不同而不同。
- 请不要在阳光直射的地方或极端高温和潮湿的环境中使用或存放本功率放大器。
- 当连接吉他屏蔽电缆、外部设备连接所需要的效应电缆或其它电缆时，请将音量降到“0”或关闭电源开关。请注意，插拔各种插头所产生的噪音可能会对设备造成严重损坏。
- 为了避免火灾危险，请不要将液体容器放在功率放大器上。
- 只要 SW100 仍与电源插座相连，此时即使关闭电源开关，也没有完全断开电源连接。不使用时，请让电源保持在关闭状态。若长时间不使用 SW100，请断开电源线。

## 各部分名称及功能



## 1. DIRECT OUT(直接输出)连接器

这是一种连接到录音机或PA系统的直接输出连接器。其极性如图所示。



## 2. POST EQ(后置均衡器)开关

用来选择前置(功率)放大器电路中的点,从这些点可获得直接输出信号。当设定为“PRE”(前置)时,将直接从输入设备中获取信号,功率放大器控制对音响效果将没有任何影响。当设定为“POST”(后置)时,将在效果返回后获取信号,因此除“VOLUME”(音量)之外的所有控制都将影响该音响效果。无论如何设定,从CD输入获得的信号永远不会由DIRECT OUT(直接输出)发送。

## 3. GND LIFT(地线解除)开关

该开关的设置将决定直接输出连接器的针-1是否连接到SW100的地线上。若您的设备接线方式复杂时(采用复合接线方式),因为地线回路(可能)会引起嗡嗡声,此时可利用该开关断开接地线,以降低嗡嗡声。

## 4. INPUT(输入)插口

这是一种1/4"耳机插口输入。使用一根吉他屏蔽电缆将低音电吉他连接到该插口。

## 5. SENSITIVITY(灵敏度)开关

该开关可以5dB为变化幅度切换输入灵敏度。若你的低音吉他使用无源拾音器,请使用“HIGH”(高)设置;若低音乐器具有有源拾音器,请使用“LOW”(低)设置。

## 6. PRE AMP CLIP(前置功率放大器截止)指示灯

若前置功率放大器、GAIN(增益)和均衡器的设置导致限制器电路在“VOLUME”(音量)控制之前发挥作用,该指示灯将亮蓝灯。

## 7. GAIN(增益)控制

它控制前置功率放大器的增益。提高其电平将增大音量,但超过一定电平之后,(某)限制器将开始发生作用以避免失真,该电平不会大幅增加。若继续提高该控制,限制器将更强烈地发挥作用,产生一种降低阈值的效果。将该控制与EQ(均衡器)和VOLUME(音量)控制组合使用,可获得所需要的音响。

## 8. BASS(低音)控制

这是一种用于低频的渐变型均衡器。它可在 $\pm 15\text{dB}$ 的范围内增强或削弱100Hz区域的电平。

## 9. MIDDLE(中音)控制

这是一种中频率均衡器。利用它可对SELECT(选择)开关所选择的区域在 $\pm 15\text{dB}$ 的范围内进行增强或削弱。

## 10. SELECT(选择)开关

用来切换频率,使MIDDLE(中音)控制在该频率发挥增强或削弱的效果。可将该频率选择为250Hz、500Hz或800Hz。

## 11. TREBLE(高音)控制

这是一种用于高频的渐变型均衡器。它可在 $\pm 15\text{dB}$ 的范围内增强或削弱4kHz或以上区域的电平。

## 12. PRESENCE(现场感)控制

这是一种超高频均衡器。它可在 $\pm 15\text{dB}$ 的范围内增强或削弱7.4kHz区域的电平。

## 13. FX MIX控制

它控制外接效果音和(现场)直接音的混合比例。设定为EVEN(相等)设置时,将听到二者相同的音量。完全调整到DRY时,则只能听到现场直接音。完全调整到WET时,则只能听到外接效果音。该控制只有在将外接设备连接到背面面板的EFFECTS RETURN(效果返回)插口时才起作用。

## 14. VOLUME(音量)控制

它调整功率放大器的输出电平。同时,它也控制CD INPUT(CD输入)的输出电平。

## 15. CD INPUT(CD输入)插口

设有立体声耳机输入插口。可连接到便携式CD/MD/盒式播放机或立体声系统的耳机输出。它用VOLUME(音量)控制调整音量。

## 16. LINE OUT(线路输出)插口

这是一种输出插口,其输出电平约为0dBm。可将它连接到外接调音台或类似的设备。

## 17. HEADPHONES(耳机)插口

这是一种用于立体声耳机的1/4"输出插口。使用耳机时,声音将不从内置扬声器产生。

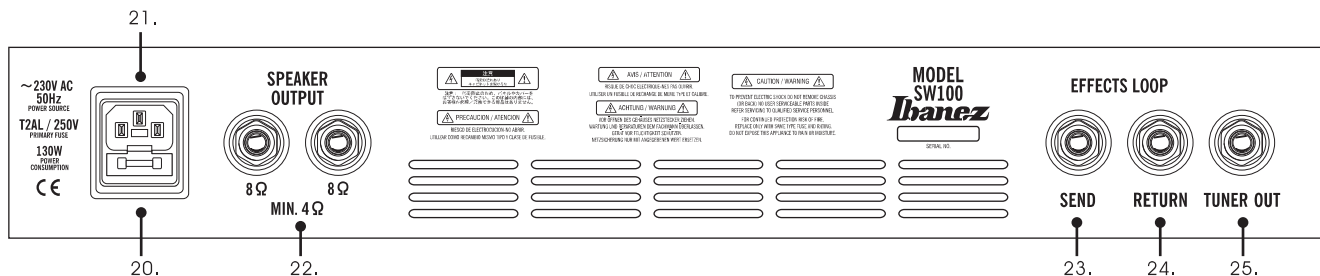
**警告** 耳机输出可能会产生很高的音量水平。使用耳机时,请首先调低VOLUME(音量),然后逐渐调高,并调到适当音量。在高音量设置时,插拔插头所产生的噪音和失真不仅会损坏耳机,还可能损伤听力。

## 18. TWEETER(高频扬声器)开关

打开/关闭内置高频扬声器。

## 19. POWER(电源)开关

该开关用来打开/关闭电源。不使用功率放大器时,请将电源保持关闭状态。



## 20. 保险丝托架

若保险丝烧断，内部可能发生了严重问题，因此请与您的经销代理商联系，更换保险丝。

## 21. AC 电源接入口

请将附带的 AC 电源线连接到该连接器。本功率放大器只能使用面板上标明的输入电压。

## 22. SPEAKER OUTPUT(扬声器输出) 插口

这是（一种）连接到内部扬声器系统的扬声器输出插口。

除了 SW100 的内部扬声器之外，还可连接（电）阻抗为 8 欧姆、输入功率处理能力为 100W 或以上的外接扬声器。

## 23. EFFECTS LOOP SEND(效果环路发送) 插口

这是一种用于效果设备的输出插口。将它连接到效果设备的输入接口。虽然该效果环路的输入和输出适合小型的效果设备，但也可用于支架式效果处理器。

## 24. EFFECTS LOOP RETURN(效果环路返回) 插口

这是一种用于效果设备的输入插口。将效果设备的输出接口连接到该输入插口。

## 25. TUNER OUT(调音输出) 插口

这是一种连接调音器的输出插口。可将小型调音器或支架式调音器连接到该插口。

# 故障排除

## 1. 无法打开电源。

- 检查电源线连接是否正确。
- 将它插到其它的电源插座，看是否出现相同的问题。

## 2. 可打开电源，但听不到任何声音。

- 低音乐器的连接是否正确？
- 当断开所有外接设备，如连接在低音乐器和功率放大器之间的效果器或连接在效果环路中的设备之后，是否仍然听不到任何声音？
- 使用其它屏蔽电缆线，确认是否能听到声音。
- 是否将贝斯的音量调到 0？
- 若贝斯具有有源电路，是否电池电量已耗尽？
- 使用其它贝斯（低音）乐器时，是否有声音？
- 检查一下功率放大器的音量是否被设定为 0？
- 检查一下是否连接了耳机。

## 3. 有噪音。

- 检查一下附近是否有什么东西产生回声或碰在功率放大器上而产生噪音？
- 若低音乐器具有有源电路，电池电量是否已耗尽？
- 当使用其它低音乐器、其它外接设备（如效果器）或电缆时仍然有噪音吗？

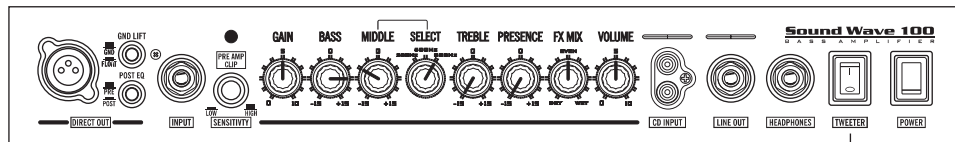
## 4. 耳机中没有任何声音。

- 检查耳机的连接是否正确。
- 连接另外一副耳机，确认是否有声音。

## 出现故障时

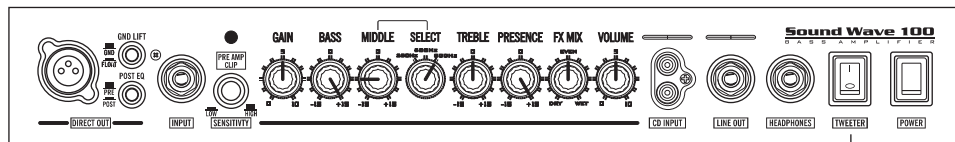
本产品在出厂前已经过彻底检验。当认为出现问题时，请务必执行上述检查步骤。使用过程中，若出现极罕见的异常情况，请与销售代理商联系。另外，要求维修时，为便于迅速解决问题，请务必详细说明故障的现象特征。有关规格若因产品改进等发生任何改变，恕不另行通知。

WALKING



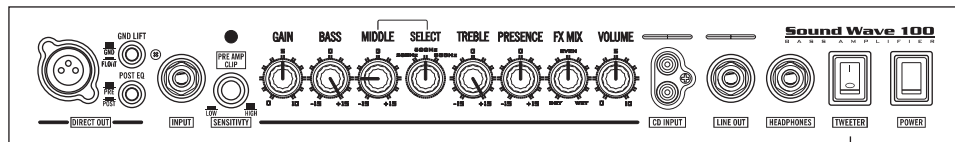
OFF

SLAP



ON

AGRESSIVE



ON

## SPECIFICATIONS

OUTPUT POWER	:100W @8Ω
	:145W @4Ω
INPUT IMPEDANCE	:1MΩ
EQ	
BASS	:±15 dB (100Hz)
MIDDLE	:±15 dB (250Hz, 500Hz, 800Hz)
TREBLE	:±15 dB (4kHz)
PRESENCE	:±15 dB (7.4kHz)

SPEAKER UNIT	:POWER JAM 1508B
POWER HANDLING	:300W (600W PEAK)
IMPEDANCE	:8Ω
WEIGHT	:32.5kg
DIMENSIONS	:540mm (W) × 590mm (H) × 490mm (D)



Model No : SW100

The aforementioned equipment fully conforms to the protection requirements of the following EC Council Directives.

89/336/EEC : ELECTROMAGNETIC COMPATIBILITY  
93/68/EEC : LOW VOLTAGE DIRECTIVE